電気暖炉　TDS8515T

取扱説明書

Celeste

目次

● この商品を安全に正しく使用していただくために、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。

安全上のご注意 …… 2
各部のなまえ …… 3
設置の方法 …… 4
運転の方法 …… 5
リモコンの設定・操作方法 …… 6
電球の交換方法 …… 7
フィルターのお手入れ …… 9
お手入れのしかた …… 11
保管のしかた …… 11
故障診断 …… 11
仕様 …… 12

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 表示内容を無視した時に生じる人身への危害、財産への損害の程度を、次のレベルに分類し説明しています。
  - ⚠ **警告**：取扱を誤った場合、死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。
  - ⚠ **注意**：取扱を誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容です。
- お守りいただく内容の種類を、次の記号で区分し説明しています。
  - 禁止図記号‥‥‥‥‥製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号。
  - 指示図記号‥‥‥‥‥製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号。

⚠ 警告

電源は、壁の１００Ｖのコンセントに電源プラグを差込んでください。
２００Ｖに接続すると、発火の恐れがあります。

電源プラグは根本までしっかりと差込んでください。ゆるいコンセントは使わないでください。
過熱により発火する恐れがあります。

本体の上方と前方に十分な空間を設けて設置してください。カーテンのように燃えやすい物や家電製品のように熱に弱い物は遠ざけてください。スプレー缶等は近づけないでください。
爆発・火災・変形・変色・故障などの原因となります。

電源コードや電源プラグが熱い場合、または電源コードを動かすと電源が切れる場合には、直ちに使用を中止してください。
電源コードの半断線です。使用し続けると発火する恐れがあります。

シーズンオフや長期間使用しない場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。プラグおよびコンセントの表面に汚れがあれば、乾いた布等で除去してください。
トラッキングによる発火、意図せぬ通電、雷等による故障を防ぎます。トラッキングとはプラグの電極間が汚れ、湿気等によりショートすることです。

延長コードやマルチタップ類は絶対に使用しないでください。
コードやプラグ等が過熱して発火することがあります。

電源コードを本体に掛けたり巻きつけたり、吹出し口の前に置いたりしないでください。
熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。

コンセントが近くにあって電源コードの長さが余っても、絶対に束ねないでください。
熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。

電源コードに重い物を載せたり、傷つけたりしないでください。キャスターで踏みつけないようにしてください。
被覆の破損や芯線の断線により、発火の原因となります。

コンセントの下では使用しないでください。
ヒーターの熱で、この製品や他の製品の電源コードを傷めて、火災の原因となる恐れがあります。

吸込口や吹出口を覆ったり、物を置いて通風を妨げたりしないでください。
過熱により火災につながる恐れがあります。

幼児を暖炉の付近に放置しないでください。必ず保護者が監視してください。吹出口に金属棒や指を差込んだり、暖炉につかまり立ちしないようにご注意願います。
感電・転倒・ケガ・ヤケド等の恐れがあります。

犬・猫など、ペットの暖房用には使用しないでください。
歯や爪で電源コードを傷つけたり、排泄物が絶縁劣化を起こして、発火の原因となります。

就寝するなど、長時間にわたって暖房中の電気暖炉の直前に居ることのないようにしてください。
熱中症の恐れがあります。幼児やお年寄り、泥酔された方には特にご注意ください。

水のかかるおそれのある場所や湿度の高い場所に置かないでください。また、花瓶等水の入った物を載せないでください。
水滴の付着や結露により絶縁劣化をもたらし、感電や発火の原因となります。

技術修理者以外の人は、分解・修理を行なわないでください。
誤った修理を行なうと、発火や感電の恐れがあります。

⚠ 注意

電源コードをコンセントから抜く場合には、必ずプラグを持って抜いてください。
コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火の原因となります。

据付は、水平で暖房の熱が拡散しやすい、安定した床面に設置してください。倒れるとケガをする恐れがあります。
毛足の長いじゅうたんを使用されると底面にある空気吸込口が塞がれます。また、キャスターを外してのご使用も空気吸込口が塞がれますので行なわないでください。

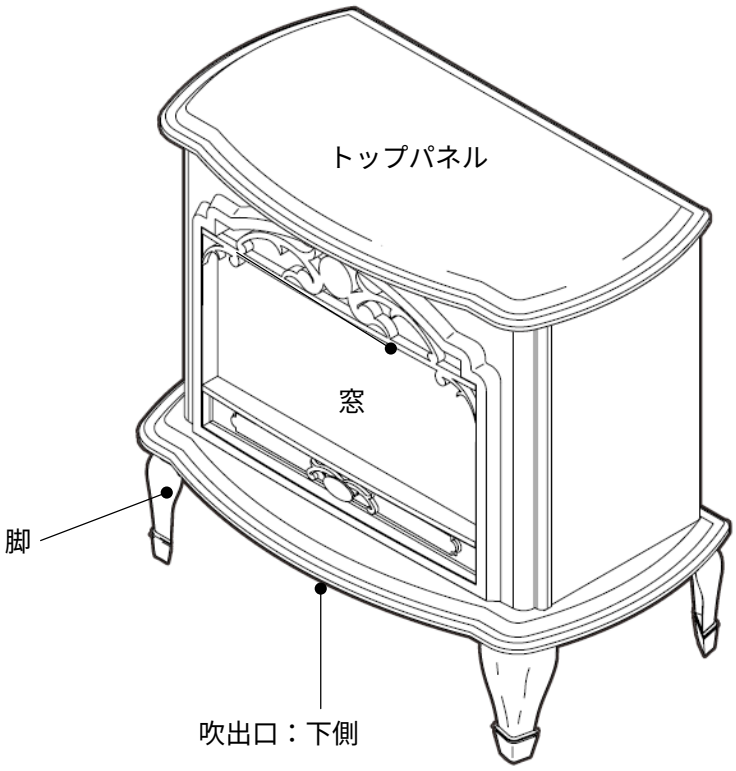
吸込口や吹出口の隙間から異物を差し込まないでください。
感電やケガの恐れがあります。

前面パネルなど本体の外装は高温になります。使用中は金属部分には触れないでください。
幼児が触らないよう、ご注意ください。お手入れや移動は冷めてから行なってください。

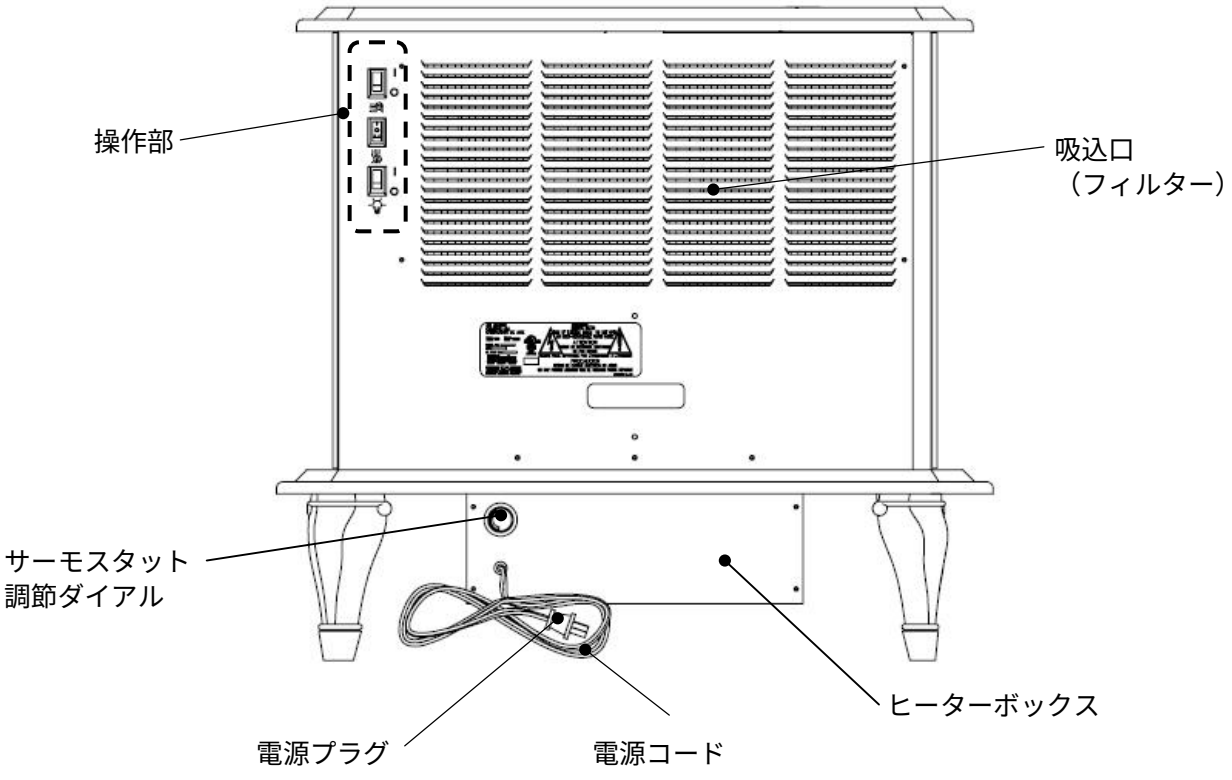
ガラス使用製品です。衝撃を与えないでください。
移動・保管などの取扱いは、慎重に行なってください。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行なわないでください。
感電の恐れがあります。

各部のなまえ


トップパネル
窓
脚
吹出口：下側

本体背面

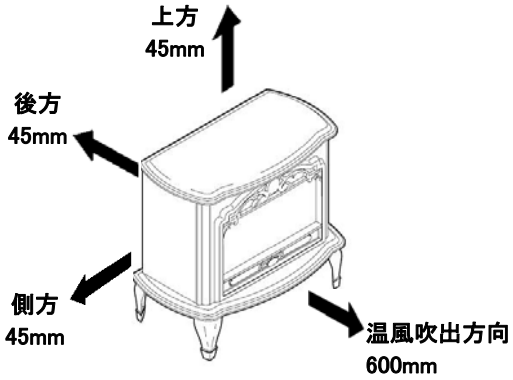

操作部
吸込口
（フィルター）
サーモスタット
調節ダイアル
ヒーターボックス
電源プラグ
電源コード

設置の方法

離隔距離に関して

電気暖炉を設置する際、カーテン・家具・壁等に対しては
右図の寸法を離してください。
（右図離隔距離を守らなかった場合、変色及び事故・火災の恐れがあります。）

■前方温風吹出方向に 600mm 以上
■上方に 45mm 以上
■側方に 45mm 以上
■後方に 45mm 以上



電源は、壁のコンセントに電源プラグを直接差込んでください。

①延長コード・マルチタップ類は使用しないでください。使用電流がオーバーすると過熱して火災の原因となります。
②コードの長さが余っても、絶対に束ねないでください。コードが異常過熱し危険です。
③電源プラグ及び電源コードに直接温風があたらない状態でご使用ください。暖房運転によりコンセントに接続された電源コードが過熱して発火する恐れがあります。
④長期間ご使用にならない場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤ってスイッチが入ることを防ぎます。

水平で安定した場所に設置してください。

①ヒーターを「強」にて長時間使用すると、吹出口周辺のフローリングやじゅうたんが変色することがあります。それらの変色を防ぐ為、別の敷物を当てる等して直接温風があたらないようにすることをおすすめします。

過熱・火災を防ぐために、前・上・左右に十分な空間を設けてください。

①カーテン等が触れることのないようにしてください。
②洗濯物などをかけると、過熱・発火する恐れがあります。

吹出口の前に物を置かないでください。

①スプレー缶類を置くと爆発・火災の危険があります。
②電源プラグ、電源コードが直接温風にあたるところにあると、過熱して発火する恐れがあります。
③温風の吹出しが妨げられると、内部が過熱して故障の原因となります。

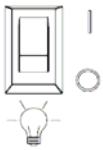
花瓶など水の入ったものを本体に載せないでください。

①水がこぼれた場合には、感電や発火などの原因となります。
②鉢植えの植物等も、水をこぼすおそれがありますので、置かないでください。

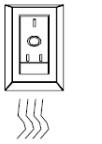
運転の方法

本体背面側操作部のスイッチ

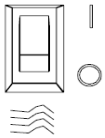
A メイン電源スイッチ



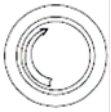
B マニュアル操作スイッチ

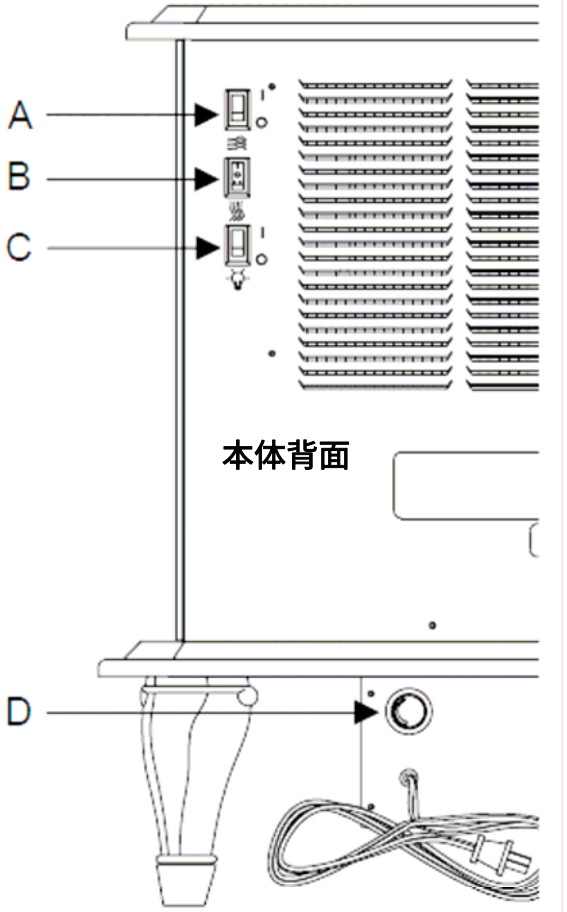


C 内部照明スイッチ



D ヒーター・サーモスタットダイアル





本体操作

A メイン電源スイッチ

- 「I」本体の電源を入れます。
- 「O」本体の電源を切ります。
  メイン電源スイッチを入れることによって全ての機能の電源が入り、スタンバイ（待機）状態になります。
  ［炎映像・ヒーター（空気清浄機能）］

B マニュアル操作スイッチ

※インジケーターランプはヒーターボックスの前面右側にあります。

- 「I」を１度押すと、炎映像が稼動し、インジケーターランプ（1 つ）が点灯します。（1 段階）
- 「I」を２度目押すと、炎映像＋送風が稼動し、インジケーターランプ（2 つ）が点灯します。（2 段階）
- 「I」を 3 度目押すと、炎映像＋ヒーターが稼動し、インジケーターランプ（3 つ）が点灯します。（3 段階）
- 「II」を１度押すことによって 3 段階のどの段階からでも、運転を停止することができます。

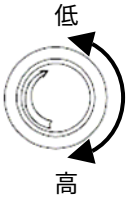
C 内部照明スイッチ

ストーブ内部の照明の入「I」・切「〇」をおこないます。

- **内部照明スイッチ**：ストーブ内部の照明を入れます。
  ※内部照明は運転の 1 段階から入・切がおこなえます。
  スタンバイ状態（メイン電源スイッチは入っているが運転していない状態）では内部照明をつけることはできません。

D ヒーター・サーモスタットダイアル

- 時計回りにいっぱいにまわした状態が最大設定となります。設定温度を下げるには反時計回りに回してください。
  右いっぱいに回すと常時ヒーター通電します。お部屋がお好みの温度になった時点でコントローラーを左に回していき「カチン」というクリック音が聞こえた位置で止めます。以後はこの温度付近でヒーターの運転が自動で入・切します。



リモコンの設定・操作方法

注意！

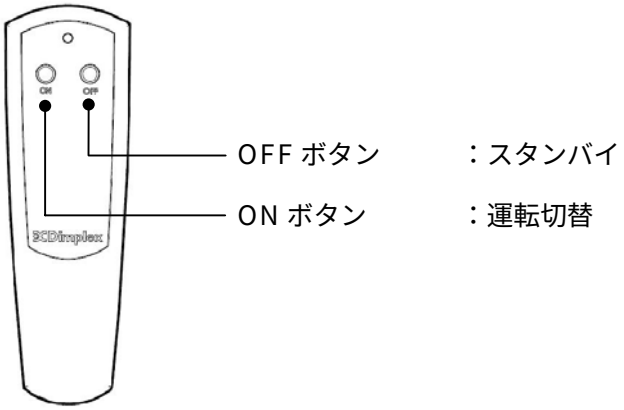
※メイン電源スイッチを切る、コンセントから電源プラグを外す、又は停電により本体への電源が遮断された場合、リモコンの設定を再び行なう必要があります。
※シーズンオフや旅行等で長期間ご使用にならない場合には、電源プラグを抜いてください。誤って運転されるおそれや、落雷による故障を防ぎます。
※保管される場合には、乾燥した場所でホコリが入らないように保管してください。

リモコンの設定

①電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認します。
②**メイン電源スイッチ**が入「**I**」の状態になっているかを確認します。
③運転が停止していることを確認します。炎映像、送風、又はヒーターが稼動している場合は**マニュアル操作スイッチ**の「**II**」を押して運転停止状態（スタンバイ）にします。
④**マニュアル操作スイッチ**の「**I**」を押しながら（長押し）**リモコン**を暖炉に向けて「ON」ボタンを 1 回押し、**マニュアル操作スイッチ**を離します。これにてリモコンの設定が完了です。

リモコンの操作

※**リモコン**の「ON」・「OFF」ボタンは本体側の**マニュアル操作スイッチ**と同じ操作機能をもっています。



※インジケーターランプはヒーターボックスの前面右側にあります。

- 「ON」を１度押すと、炎映像が稼動し、インジケーターランプ（1 つ）が点灯します。（1 段階）
- 「ON」を２度目押すと、炎映像＋送風が稼動し、インジケーターランプ（２つ）が点灯します。（2 段階）
- 「ON」を３度目押すと、炎映像＋ヒーターが稼動し、インジケーターランプ（3 つ）が点灯します。（3 段階）
- 「OFF」を１度押すことによって 3 段階のどの段階からでも、運転を停止することができます。

電球の交換方法

注意！

※電球は熱くなっています。冷めるまでは触れないでください。本体内部や裏面には金属のエッジやネジの先端があります。
触れてケガをしないようにご注意ください。
※電球交換の際には滑り止めのついた軍手を着用してください。
※電球を無理に回したり、ねじるなどしないで下さい。電球が破損し、ケガをするおそれがあります。

炎映像には3個のハロゲンランプが使用されています。

１個の電球が切れると炎映像が暗くなり、３個とも切れると炎は映し出されません。この様な時には電球を交換してください。

電球は下記のものをお買い求めください。

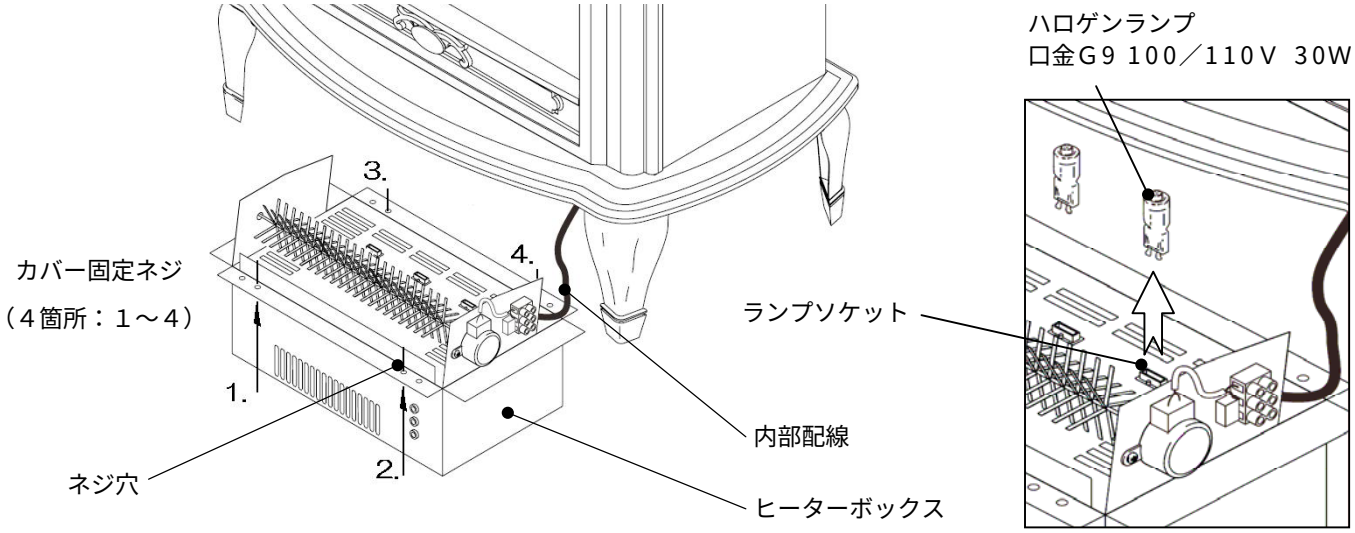
ハロゲンランプ　口金Ｇ９　１００／１１０Ｖ　３０Ｗ　（3 個）

電球の交換は次のように行なってください。

※電源プラグをコンセントに接続しメイン電源スイッチを入れて、切れている電球を確認します。

交換作業を始める前にメイン電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

①本体正面が上を向くよう、本体を寝かして下さい。塗装を傷つけないよう、敷物の上に置いて電球の交換作業を行って下さい。
②本体底面のカバーを固定しているネジ前後 4 箇所（下絵１～４）を外し、ゆっくりとヒーターボックスを床に置いてください。
※ヒーターボックスと本体は配線でつながっています。ヒーターボックスを外す際には、無理に配線を引っ張らないようにご注意ください。
③ランプソケットからランプを上へ引いて外してください。
④ランプの交換が終りましたら、再びヒーターボックスをストーブの底面へ固定してください。

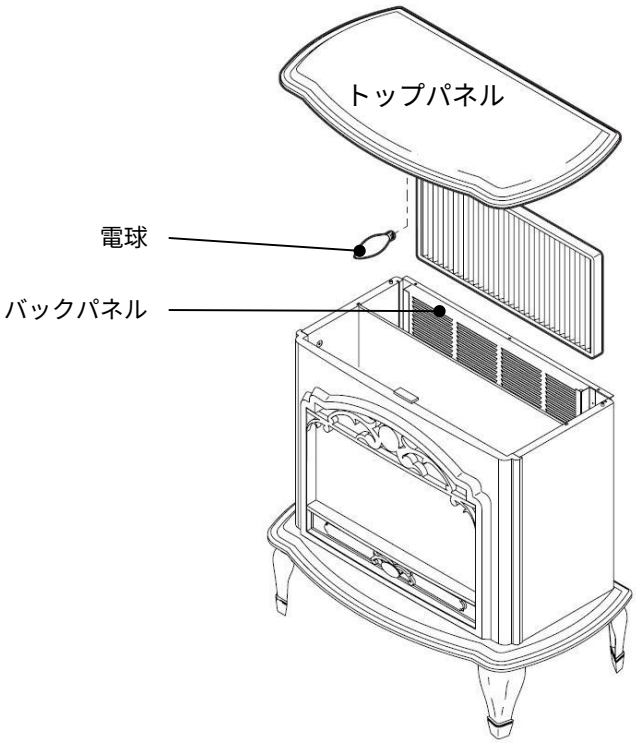


内部照明にはシャンデリア電球（1個）が使用されています。

内部照明用の電球が切れますと、**内部照明スイッチ**を押しても照明がつかなくなります。この様な時には電球を交換してください。

電球は下記のものをお買い求めください。

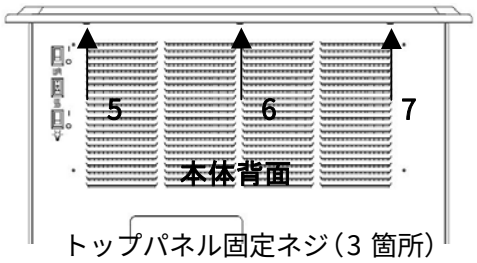
シャンデリア電球　口金Ｅ12　１１０Ｖ　１５Ｗ　（1 個）



電球の交換は次のように行なってください。

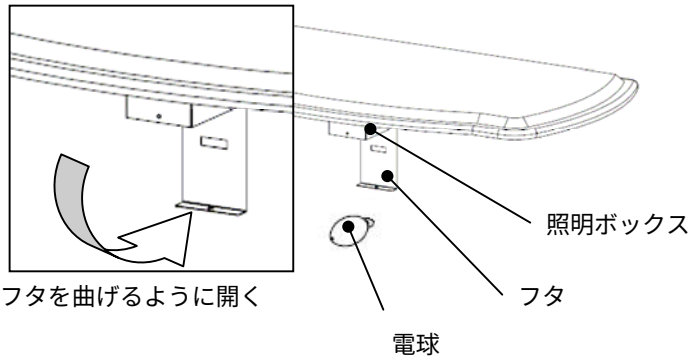
交換作業を始める前にメイン電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

①本体後ろ側のトップパネルを固定しているネジ 3 箇所（下絵５～７）を外してください。

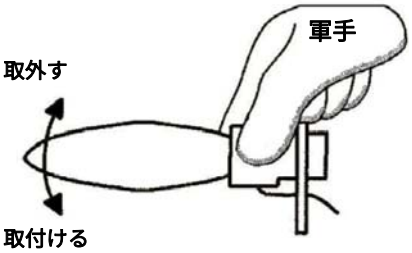


②トップパネルの背面側を 1cm 程持ち上げ、トップパネルを本体の背面側へ引くように外してください。この作業を行なう際には塗装を傷つけないよう注意してください。

③トップパネルの裏側に設置されている照明ボックスのフタを曲げるように開きます。



フタを曲げるように開く



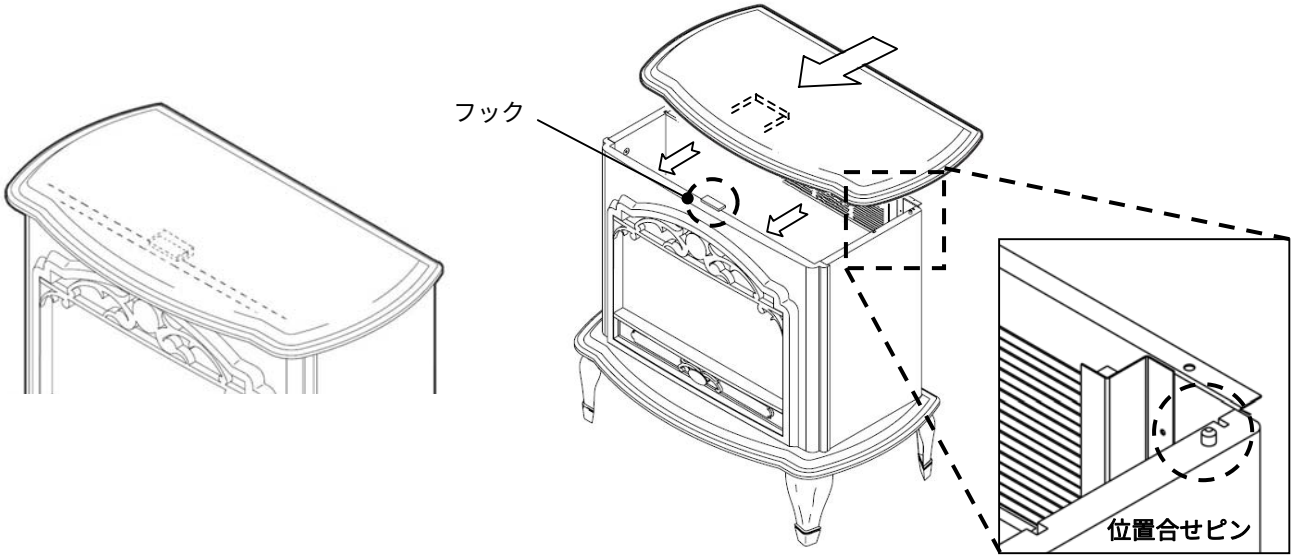
ソケットを手で持ちながら電球の取外し、及び取付けを行ってください。

④切れている電球を新しいものに交換します。

⑤電球交換は、ソケットを持ちながら行ってください。

⑥電球の交換後、再び照明ボックスのフタを元の位置に戻します。

⑦電球交換後、トップパネルの正面側を本体の後ろ側から正面に向かってスライドさせ、照明ボックスとトップパネルの間のくぼみに本体正面側のフックを引掛けてください。トップパネル裏側左右に設けられた位置合せの穴を本体側のピン（下図）に合せ、トップパネルを本体へネジで固定して下さい。

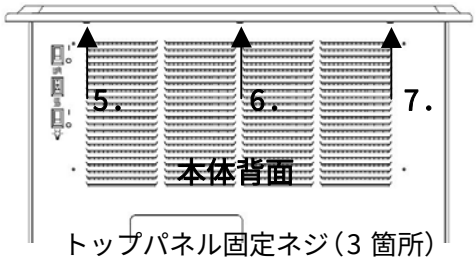


フィルターのお手入れ

※ヒーター・送風（空気清浄）を頻繁にご使用される期間は、フィルターのお手入れを 1 ヶ月に 1 度程度行なってください。

交換作業を始める前にメイン電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

①本体背面側のトップパネルを固定しているネジ 3 箇所（下絵 5～7）を外してください。



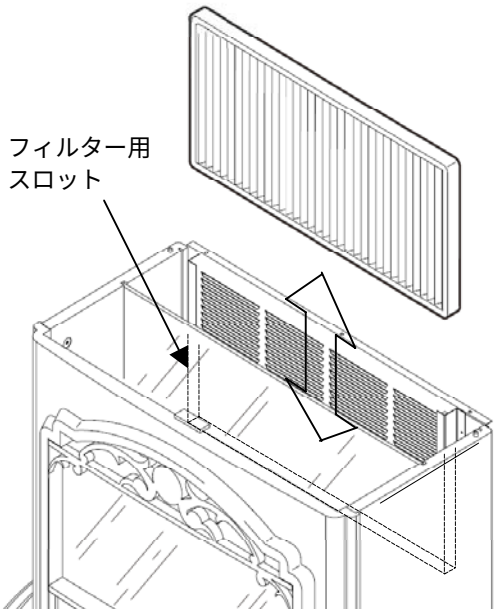
トップパネル固定ネジ（3 箇所）

②トップパネルの後ろ側を 1cm 程持ち上げ、トップパネルを本体の後ろ側へ引くように外してください。この作業を行なう際には塗装を傷つけないよう注意してください。

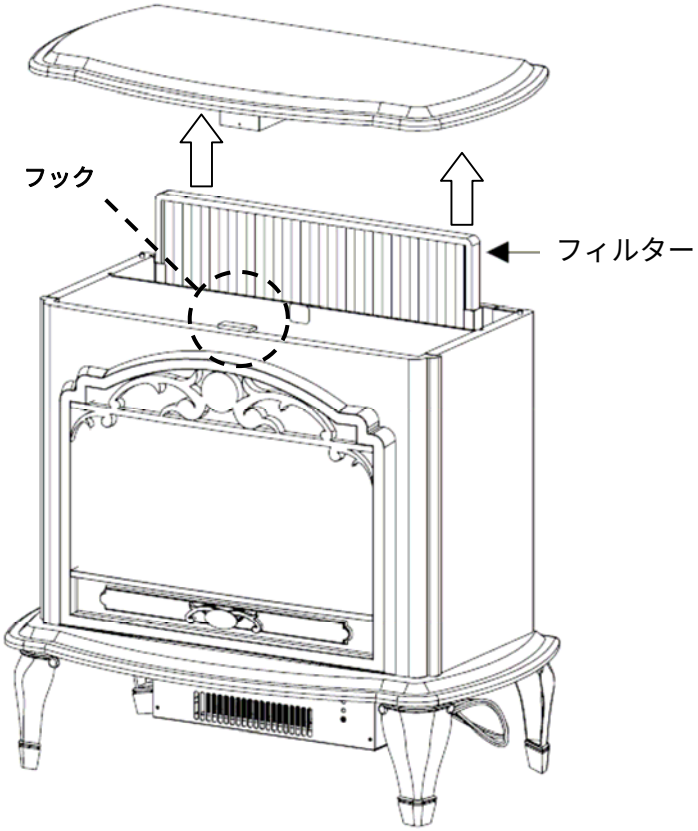
③本体背面の本体内側に設置されているフィルターを上へ引き上げ、取外してください。

④フィルターの汚れを掃除機で吸い取ってください。
※水洗いもできますが、石鹸や洗剤などは使用しないで下さい。水洗いをした場合、フィルターが完全に乾いたのを確認してから本体に取付けてください。

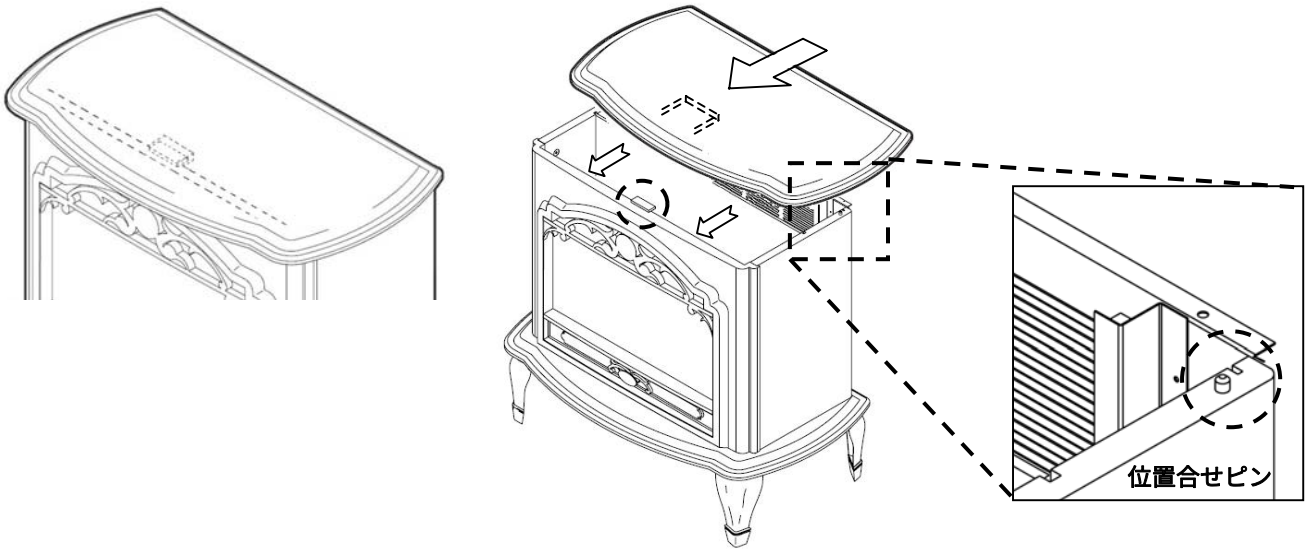
⑤再びフィルターを本体の背面に設けられている、フィルター用のスロットにセットしてください。



フィルターの取付け／取外し



⑥トップパネルの正面側を本体の後ろ側から正面に向かってスライドさせ、照明ボックスとトップパネルの間のくぼみに本体正面側のフックを引掛け、トップパネル裏側左右に設けられた位置合せの穴を本体側のピンに合せ、トップパネルを本体へネジで固定して下さい。



お手入れのしかた

安全で快適にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。
※お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜き、各部が十分に冷えてから行なってください。

①柔らかな布に水を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。汚れがとれないときには薄めた中性洗剤を使用してください。クレンザー・シンナー等は表面を傷つけますので使用しないでください。操作部や内部には絶対に水がつかないように注意してください。
②電源コードにキズや熱くなる部分がないかを確認し、異常があれば交換を依頼してください。特に、電源プラグの付け根および本体からの出口部は、しっかりと確認してください。
③ヒーターをご使用される期間については 2 週間に 1 度程度、吹出口のグリル部のホコリを掃除機で吸い取って下さい。

保管のしかた

①ホコリが入らないように、ポリ袋等のカバーをお使いください。
②ホコリの少ない乾燥した場所で保管してください。

故障診断

症状	点検・原因	処置
電源が入らない。	プラグの外れ	正しく差しこんでください。
	ブレーカーの落ち	原因を調べてから復旧させてください。
擬似炎が暗い、小さい、点灯しない。	電球切れ	電球の交換
暖房運転が時々止まる。	吸込口がじゅうたん等で塞がれている。	通風をよくしてください。
	吹出口に物が置かれている。	物を移動させてください。
	吸込口・吹出口に多量の綿埃等が付着している。	掃除してください。
	サーモスタットダイアルの設定が低くなっている。	サーモスタットダイアルを調整してください。
ヒーターを入れないのに本体が暖かい。	擬似炎用の電球の発熱で、電球付近を中心に温度が上がりますが、異常ではありません。	-
異音がする。	擬似炎メカのギアモーター音がしますが異常ではありません。 ヒーターからファンの音がしますが異常ではありません。	通常より大きな音・異質な音がする場合には、点検を依頼してください。
電源プラグが熱い。電源コードが熱い。 電源コードを動かすと電源が切れる。	プラグの異常	電源コードの交換
	コードの半断線	電源コードの交換
ヒーターに通電するとブレーカーが働く。	ブレーカー容量以上の機器が接続されている。	接続機器を減らしてください。
リモコンが機能しない	メイン電源スイッチが「切」になっている。	メイン電源スイッチを入れてください。
	リモコンの設定がされていない。	リモコンの設定を行ってください。

※上記のことを調べても原因がわからない場合には、販売店または当社へ連絡ください。
電源コードの交換は、安全のために当社もしくは販売店、または同等の技術をもつ事業者へ依頼してください。
不適切な処理は、発火の原因となります。

仕様

型番	ＴＤＳ８５１５Ｔ
電源	１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
消費電力	１０００Ｗ
製品質量	約３９ｋｇ
外形寸法	高さ７５６mm×幅６８６mm×奥行４４１mm
適用畳数	3～6畳
送風機	クロスフローファン
空気清浄機能	フィルター式
擬似炎用電球（交換用）	ハロゲンランプ　口金Ｇ９　１００／１１０Ｖ　３０Ｗ シャンデリア電球　口金Ｅ１２　１１０Ｖ　１５Ｗ
電源コード長さ	約1.8m

輸入元　株式会社ディンプレックス・ジャパン
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町１丁目11番12号　ＴＫ堀留ビル５階　TEL：03-6272-3791　FAX：03-5695-0271

MA080015 08/09/18